

## グループホーム清久 事業報告

平成31年度（令和元年度）事業計画に基づいて以下の事業を行いました。

### 1 実施事業

#### (1) 定員と利用率

令和2年3月31日現在

事業名	定員	利用率
共同生活援助	定員41名	92.3%
短期入所	定員1名	82.9%

#### (2) 入居者の状況

##### ア 定員内訳

( )カッコは短期入所の人数

	清久	ハイツ	上清久	こがらい	仁丁町	おぎそね	こすもす	うちや	合計
定員	7名	4名	4名	7名	4名	7名	4名	4名 (1名)	41名 (1名)
現員	6名	3名	4名	7名	3名	7名	4名	4名 (1名)	38名 (1名)

##### イ 男女比・年齢構成

	19歳～29歳	30歳～39歳	40歳～49歳	50歳～59歳	60歳～69歳	70歳～80歳	合計
男性	2	7	4	6	2	4	25
女性	0	0	2	4	3	4	13

##### ウ 平均年齢

	平均年齢（男女別）	平均年齢（全体）
男性	49歳	53.5歳
女性	62歳	

##### エ 障害支援区分

	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	計
男性	0	5	3	11	4	2	25
女性	0	0	4	5	4	0	13
計	0	5	7	16	8	2	38

##### オ 療育手帳・身体障害者手帳・精神障害者保健福祉手帳の所持状況

	療育手帳					身体障害者手帳				精神保健手帳		
	㉠	A	B	C	なし	1級	2級	3級	なし	1級	2級	なし
男性	1	7	13	3	1	0	1	1	23	1	2	22
女性	1	8	3	1	0	0	0	1	12	1	1	11
計	2	15	16	4	1	0	1	2	35	2	3	33

## カ 日中活動場所

### < 一般就労 >

会社名	仕事内容	人数
(株)なとり	食品加工・荷物運び	2人
(株)ウィズウェイストジャパン	リサイクル選別	2人
松勘工業(株)	武道具生産	1人
(福)久喜けいわ	洗濯・清掃・入浴補助	2人
(株)ネアス	クリーニング・掃除	1人
(株)流通サービス	物流・箱出し	2人
(株)吉野家ホールディングス	食肉加工	1人
アイワイフーズ(株)	食品製造	1人
(株)グリーンクロス	洗浄作業	1人

### < 福祉事業所 >

事業所名	サービス内容	人数
久喜けいわ	生活介護	4人
久喜けいわ	就労継続B型	14人
コムラード	就労継続B型	1人
久喜市 あゆみの郷	生活介護	3人
久喜市 あゆみの郷	就労継続B型	1人
宮代町 ひまわりの家	生活介護	1人
白岡市 めぐみの里	就労継続B型	1人
宮代町 アバンティ	就労移行	1人
加須市 ワークスみぎわ	就労移行	1人
久喜市 いちょうの木	生活介護	1人
久喜市 偕楽荘	高齢者デイサービス	1人(久喜市あゆみの郷と併用利用)
久喜市 鶴寿荘	高齢者デイサービス	1人(久喜けいわと併用利用)

## (3) 職員体制

職 種	配置人数	備 考
所長	1	サービス管理責任者兼務
生活支援員	8	サービス管理責任者兼務(1名) 計画相談兼務(1名) (常勤6名、非常勤2名)
世話人	30	事務員兼務(1名) 久喜けいわ生活支援員兼務(2名) 夜勤勤務のみ(7名) (常勤5名、非常勤25名)
計	39	

## 2 重点実施事項

### (1) 高齢化の支援・環境整備

他法人のケアマネジャーより、アドバイスをいただき、訪問看護、高齢者デイサービスの利用につなげることができました。職員は、介護保険の申請手続きを経

験しながら、介護保険の知識を深めることができました。利用者は、高齢者デイサービスと障害福祉サービスを併用することで年齢に合ったサービスを受けることができています。

#### (2) 権利擁護、虐待防止の意識向上

虐待防止チェックシートを全職員に配布し、支援の振り返りを行っていただきました。チェックシートを活用することで、権利擁護や虐待防止に関する意識が向上し、丁寧な支援につながりました。

#### (3) 緊急時の対応

連絡体制を整備し、夜間や緊急時の連絡対応者を毎日配置したことで、迅速に対応することができました。

### 3 事業報告

#### (1) 利用者支援

##### ア 地域生活者としての自立支援

(ア) 日頃からコミュニケーションを大切にし、話しやすい環境を作ることで、入居者1人ひとりの意見や要望を反映した支援につなげることができました。

(イ) 金銭管理については、その人なりに自己管理できるように支援しました。高額な物品に関しては、計画的にお金を貯めて購入することができるようになりました。

(ウ) 経済的に自立が困難になった入居者1名が、生活保護の受給を継続できるよう、行政と連絡を取り合いながら必要な手続きを行いました。

##### イ 健康管理

(ア) 日々、バイタルチェックや観察を行い、健康状況の把握に努めました。また、感染予防対策として、手洗い・うがいの励行と希望者にはインフルエンザの予防接種を実施しました。

(イ) 入居者全員が、健康診断を受けました。有所見者に対しては、嘱託医に相談し、必要に応じて病院を受診しました。傾向として、内科や泌尿器科等の疾病を持つ入居者が増えてきています。通院には職員が同行し、医師からのアドバイスを分かりやすく伝え、利用者自らも気をつけられるように努めました。

(ウ) 食事面に関しては、必要に応じて管理栄養士に食事のアドバイスをもらいました。また、管理栄養士が作成した献立に基づき、栄養バランスの良い食事提供に努めました。

(エ) 生活習慣病を予防できるように、公園に出かけウォーキングをする等適度な運動ができるように努めました。

##### ウ 余暇活動の充実

(ア) 入居者の要望から、映画鑑賞やコンサート、日帰りバスツアーに出かけ楽しむことができました。

(イ) 物づくりのボランティアさんに来てもらい干支作りや手芸作りを教えてもらいました。自分で作った作品は、部屋に飾っています。

(ウ) 一般就労している入居者4名が2泊3日で北海道旅行に行くことができました。飛行機に乗り、北海道の大自然を満喫することができました。

## エ 高齢化対策

- (ア) 男性入居者が、術後にストマ装着が必要となり、専門的な対応が必要となった為、訪問看護を利用しました。また、70代の入居者2名が高齢者デイサービスを利用し、レクレーションを楽しんだり、機能訓練で筋力維持につなげることができました。
- (イ) 成年後見制度は利用を促進しているところですが、金銭面等様々な課題があり、進んでいない状況です。

## オ 虐待防止対策

- (ア) 入居者とのコミュニケーションを深め、随時相談に応じました。悩みを抱えすぎることなく、過ごすことができました。
- (イ) 会議等で、入居者1人ひとりの障害特性について共有する機会を設けましたが、理解することは難しく課題となっています。
- (ウ) 職員が日々の支援の中で悩みを抱え込まないように、必要に応じて職員間で相談する機会を設けました。また、事業所内でアンガーマネジメント研修を行い、ストレスを溜め込まないように努めました。

## カ 関係機関との連携

- (ア) 地域生活定着促進事業の対象者の受け入れはありませんでした。
- (イ) 会社を休みがちな入居者の支援については、定期的に支援センターのジョブコーチと職場へ訪問し、継続して就労できるように努めました。
- (ウ) 圏域内の在宅障害者の支援に関して、短期入所の利用を積極的に受け入れました。
- (エ) 介護保険サービスを利用している3名の利用者に関して、ケアマネージャーや高齢者施設の職員と定期的に情報を共有し支援にあたりました。

## (2) 働きやすい職場づくり

### ア 業務の整理

業務マニュアルを作成し、生活支援員と世話人の業務内容を明確にしました。仕事の偏りが改善され、生活支援員と世話人の協力体制が出来つつあります。

### イ ストレスの軽減

一人で仕事を抱え込まないように、上司と職員で協議をし、問題を解決していきました。また、職員のストレス発散や親睦を図ることを目的に職員同士の親睦会を開催しました。

### ウ 年次有給休暇の取得促進

職員の希望を聞き、職員全員が年次有給休暇を5日以上取得しました。

## (3) 人材育成

### ア 職員の知識・技術の向上

内部、外部研修に職員が参加しました。日々の支援の振り返り、入居者へのサービスの質の向上につながりました。

### イ 世話人の研修

グループホームの職員を対象としたアンガーマネジメント研修を実施し、15名の世話人も参加しました。今後も積極的に事業所内で世話人向けの研修を

行います。

#### ウ ホーム会議の実施

各ホームでの会議を定期的実施し、意見交換できる場を増やしました。普段の利用者への支援や業務についての悩み等を共有し、課題解決を図りました。

#### エ 研修実績

##### < 外部研修 >

研修名	主催	日時	場所	参加者
サービス管理責任者連絡会研修	自立支援協議会 サービス管理責任者連絡会	7/23	白岡市生涯学習センター	相馬
サービス管理責任者研修	埼玉県社会福祉協議会	8/30	すこやかプラザ	高瀬
中堅職員研修	埼玉県発達障害福祉協会	11/11～12	埼玉会館	寒河江
災害派遣スキルアップ研修	埼玉県社会福祉協議会	11/26	すこやかプラザ	矢治
防災研修	埼玉北地区自立支援協議会	2/21	白岡市生涯学習センター	高瀬、相馬、 矢治

##### < 法人内部研修 >

研修名	内容	日時	場所	参加者
アンガーマネジメント研修	グループホーム職員対象 怒りのコントロール	8/6	機能訓練棟	高瀬、相馬、高垣、 矢治、寒河江、守嶋、 斉藤弘、島田、小山、 井上、板垣、山岸、 佐々木、瀬崎、峯岸、 阿部、尾崎、内海、 高橋俊、嶋田、高橋 京、佐藤康、平良、 太田
不審者撃退研修	不審者への対応	9/18	機能訓練棟	高瀬、高垣、寒河江、 山岸、斉藤(直)、尾 崎、峯岸
労務管理者研修		12/2	喫茶談話室	高瀬、相馬

#### (4) リスク管理

##### ア 危機管理の徹底

(ア) 久喜消防署立会いの下、消火訓練、通報訓練、避難訓練を行いました。また地区の防災訓練に参加し、消火訓練や炊き出し訓練を行いました。入居者、職員共に防災に対する意識の向上につながりました。

(イ) 職員が毎日各ホームを巡回し、火の始末の確認を行い、火災予防に努めました。

(ウ) 各ホームで危険箇所と老朽箇所のメンテナンスを定期的に行いました。また、修繕箇所には早急に対応しました。

(エ) 自転車で通勤する入居者には自転車保険に加入をしてもらいました。通勤や外出時に職員が同行し、交通ルールを確認することで、交通安全を意識できるようになりました。

(ウ)台風19号により、近隣の河川の水位が上昇し、警戒レベル4が発令された為、夜間の職員配置を通常より手厚く配置し、利用者の安全確保に努めました。人的被害は無かったものの、仁丁町のアンテナが倒れる被害がありましたが、すぐに修理復旧でき、生活に支障をきたすようなことはありませんでした。

イ 守秘義務と個人情報保護

利用者の個人情報の取り扱いについては、各ホームで鍵のかかるロッカーに保管しました。パソコン等はセキュリティソフトを入れ漏洩しないように努めました。

(5) 地域交流

ア 地域住民との交流

(ア)運動会、お祭り、地域清掃等の地域行事には積極的に参加し、地域の人と交流しながら楽しむことができました。

(イ)67区自主防災訓練は天候不順の為中止になりました。73区の自主防災訓練には、入居者と職員で参加し、地域の方と交流することができました。

(6) 事業運営

ア 利用率の向上

空き居室を有効活用し、体験利用や短期入所の受け入れを積極的に行いました。

イ 短期入所

圏域内の短期入所利用希望者のニーズは高く、利用者が増えています。身体介助が必要な方については、職員配置を手厚くし受け入れられるように配慮しました。

ウ サテライト型住居の設置検討

サテライト型住居の設置については、市内の不動産業者と相談し適している物件を探ことができ、開設準備が整いました。